

開館時間：10時～18時  
(中央館は火～金：20時)  
休館日：毎週月曜日、  
年末年始、その他臨時休館  
(分館は国民の祝日・休日)

# としょかんだより

(中央館) TEL 22-3225 FAX 22-7118  
(夜久野分館) TEL・FAX 37-1066

(三和分館) TEL 58-4715 FAX 58-4716  
(大江分館) TEL・FAX 56-1017

もういくつ寝るとお正月。お餅を楽しみにしている人もいますでしょう。  
日本らしい食べ物と思われませんが、世界をみれば、日本を含む東アジア・  
東南アジアの国々に、お餅の食文化が集まっています。

参考にした本『もちの絵本』えがわ かずのり／へん、農山漁村文化協会



わくわくがいっぱい!

図書館三和分館移転オープン!

1月12日(金)

三和分館が新しくなって、三和支所2階にオープンします。

オープン記念イベント・展示にぜひお越しください。

◆ 絵本作家 **tupera tupera**さんオリジナル作品のパネルが登場!

NHK「ノージーのひらめき工房」などでおなじみの絵本作家 **tupera tupera**  
さんが、大原の産屋をモチーフにして描いたオリジナル作品を拡大パネルにして、  
2階ロビーに展示します。フォトスポットとしてもお楽しみください。



くわしくは図書館ホームページ <https://www.lics-saas.nexs-service.jp/city-fukuchiyama/>

## 図書館のお休みのおしらせ

ねんまつねんし  
年末年始

【中央館】12月29日(金)～1月4日(木) 【分館】12月28日(木)～1月5日(金)

※三和分館は移転のため、1月11日(木)まで休館しています。

蔵書点検 (2月) 蔵書点検とは、図書館の本を点検するための期間です。

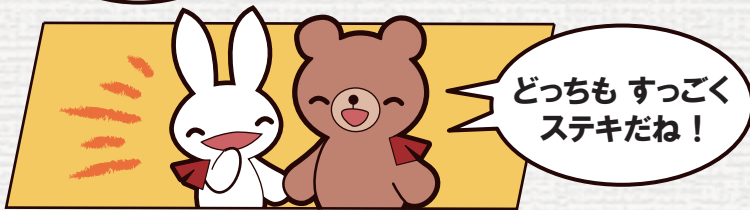
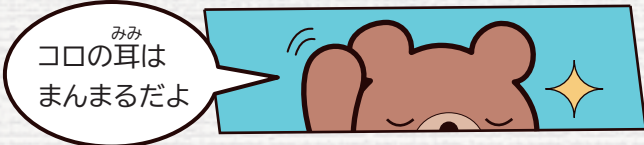
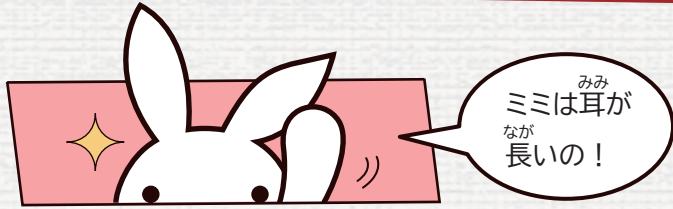
【中央館】2月12日(月)～2月16日(金) 【分館】2月22日(木)～2月23日(金・祝)





こんかい  
今回のテーマ

# ちがいを 知ろう



りかい 理解することは、ちがいを 知る から。  
ちがいは決して間違いではないからね。

## 『ふつうに生きるって何?』 (井手 英策 / 著, 毎日新聞出版)

しょうがく ねんせい ゆたろう かんが  
小学5年生の愉太郎は 考えます。いま  
やりたいことをたくさんがまんして勉強  
しても、偉くなれるとは限らないし、つき  
つきりで教わっている子と競っても勝て  
ないのに。それでも僕は  
がんばらないといけない  
わけ?  
なに にちじょう なか  
何げない日常の中の  
ぎもん こと み  
疑問の答えは見つかる  
のかな。



## 『いろいろななかぞくのほん』 (メアリ・ホフマン / ぶん, ロス・アスキス / え, 少年写真新聞社)

かぞく なん ち  
「家族」って何だろう? 血のつながり  
があたりなかったり、二人きりの家族  
もあれば、大人数の大家族もあります。

さまざま かぞく かたち  
様々な家族の形を  
りかい 理解するのは、きっとみ  
んなが安心できること。  
いろいろ かぞく かた  
色々な家族のあり方を  
し 知ってみよう。



## 『あの子のことは、なにも知らない』 (栗沢 まり / 作, ポプラ社)

いいんちょう みさき そつぎょうしゅくがかい つか  
委員長の美咲は、卒業祝賀会で使う  
しゃしん も かずや りかい  
写真を持ってこない和也を理解できな  
い。和也が貧困家庭であることを知らな  
くて…。

あいて りかい よ そ  
相手を理解し寄り添うか、  
がっこう でんとう さんちよう  
学校の伝統を尊重するか?  
こた えのない問いの中で、  
けんめい い ちゅうがくせい すがた  
懸命に生きる中学生の姿  
こころ ひび ものがたり  
が心に響く物語。



ほん きせう  
本の寄贈

こくさい ふくちやまさま こ ほん  
国際ソロプチミスト福知山様より、子どもたちへ本のクリスマス  
プレゼントをいただきました。ありがとうございました。





じ どう ほん  
**児童おすすめの本**



ほん  
『2番めにすき』

よしの まりこ さく しゅつばん  
(吉野 万理子 / 作, くもん出版)



ナッチの通うネコの学校に、プリシラが転校して来ました。プリシラは「この学校でもベストフレンドがほしいの」と言います。ナッチはプリシラと仲良くなりたいのですが、プリシラは「ナッチのことは 2番めにすき」だと言います。友だちに順番ってあるのかな？

『すずのまたたびデイズ』1～3

げんさく いのうえ あきこ ぶん しゃ  
(トル / 原作, 井上 亜樹子 / 文, ポプラ社)



ある日、親友のあずきとグレねえからルームシェアに誘われたすず。けれど、かん違いしていた家賃は超高額！ 家賃を支払うために始めたバイト先では事件にまき込まれ、住み始めたばかりのお屋敷もなんだかあやしくて…？ なかよし3人組のドタバタ新生活！

ものがたり  
『しかばねの物語 チベットのむかしばなし』

ほし いずみ へんやく しよてん  
(星 泉 / 編訳, のら書店)



罪滅ぼしのため「幸いをもたらすしかばね」を手に入れる旅に出たトンドゥプ。だが、道中「しかばね」が語る話がどんなに面白くても、口をきいてはならないという。トンドゥプは固く心に誓ったものの…。チベットの人々に長く愛されてきた昔話。

い しんかい ずかん  
『行ってみたくなる深海の図鑑』

わたなべ ひろみ ちょ かど かワ  
(渡部 裕美 / 著, KADOKAWA)



深海がどんなところか知っていますか？ 海山とよばれるエベレストより高い山があったり、温泉があったり、多様な深海生物が住んでいたり…。深海には、未だ解明されていない謎や不思議がいっぱい。君の知らない深海世界をのぞいてみませんか？

# ティーンズ <sup>ほん</sup>おすすめの本



## 『<sup>も</sup>萌えすぎて<sup>ぜったいわす</sup>絶対忘れない！<sup>もうそうこぶん</sup>妄想古文』



<sup>みやけ かほ ちよ</sup> (三宅 香帆 / 著, <sup>かわでしよぼうしんしゃ</sup>河出書房新社)

<sup>お</sup>推しキャラ<sup>えら</sup>選<sup>まよ</sup>びに迷<sup>げんじものがたり</sup>う「源氏物語」に、<sup>にじげん</sup>二次元への<sup>あい</sup>愛をつづ<sup>さらしな</sup>った「更級日記」、<sup>にっし</sup>日本最古<sup>にほんさいこ</sup>のSNS「<sup>エスエヌエス</sup>万葉集」など、<sup>まんようしゅう</sup>国語の授業<sup>こくご</sup>では<sup>じゅぎょう</sup>味わえない<sup>あじ</sup>古文<sup>こぶん</sup>の魅力<sup>みりよく</sup>を<sup>ちよしゃ</sup>著者の<sup>お</sup>推しポイント<sup>しょうかい</sup>とともに紹介。

<sup>きんだん</sup>禁断<sup>こい</sup>の恋<sup>せかい</sup>など<sup>こぶんぬま</sup>ディープな世界<sup>せかい</sup>、<sup>こぶんぬま</sup>古文沼<sup>せかい</sup>をのぞいてみませんか。

## 『<sup>きんようび</sup>金曜日のあたしたち』



<sup>はまの きょうこ さく</sup> (濱野 京子 / 作, <sup>せいざんしゃ</sup>静山社)

<sup>しぼうこう</sup>志望校<sup>お</sup>に<sup>ひなた</sup>落ち<sup>い</sup>た陽葵<sup>こうこう</sup>は、<sup>き</sup>行きたくな<sup>ひび</sup>かった高校<sup>ひび</sup>でやる<sup>ひび</sup>気のない<sup>ひび</sup>日々<sup>ひび</sup>を<sup>ひび</sup>過<sup>ひび</sup>ごしていた。

しかし、<sup>えきまえ</sup>駅前<sup>おんだんか</sup>で「ストップ！温暖化」と書<sup>か</sup>いた<sup>も</sup>プラカード<sup>も</sup>を持<sup>こうこうせい</sup>つ<sup>こうこうせい</sup>高校<sup>こうこうせい</sup>生<sup>こうこうせい</sup>と<sup>こうこうせい</sup>出<sup>こうこうせい</sup>会<sup>こうこうせい</sup>った<sup>こうこうせい</sup>こと<sup>こうこうせい</sup>で、<sup>こうこうせい</sup>それ<sup>こうこうせい</sup>まで<sup>こうこうせい</sup>何<sup>こうこうせい</sup>も<sup>こうこうせい</sup>知<sup>こうこうせい</sup>ら<sup>こうこうせい</sup>な<sup>こうこうせい</sup>か<sup>こうこうせい</sup>った<sup>こうこうせい</sup>自<sup>こうこうせい</sup>分<sup>こうこうせい</sup>を<sup>こうこうせい</sup>悔<sup>こうこうせい</sup>しく<sup>こうこうせい</sup>思<sup>こうこうせい</sup>い、<sup>こうこうせい</sup>劣<sup>こうこうせい</sup>等<sup>こうこうせい</sup>感<sup>こうこうせい</sup>と<sup>こうこうせい</sup>意<sup>こうこうせい</sup>地<sup>こうこうせい</sup>を<sup>こうこうせい</sup>バ<sup>こうこうせい</sup>ネ<sup>こうこうせい</sup>に<sup>こうこうせい</sup>行<sup>こうこうせい</sup>動<sup>こうこうせい</sup>して<sup>こうこうせい</sup>い<sup>こうこうせい</sup>く。

## 『<sup>み</sup>ぼくにだけ見える<sup>み</sup>ジェシカ』



(<sup>あんどりゅー</sup>アンドリュー・ノリス / 作, <sup>とくましょてん</sup>徳間書店)

<sup>まふゆ</sup>真冬<sup>こうてい</sup>の校庭<sup>であ</sup>で<sup>おんな</sup>出<sup>こ</sup>会<sup>すがた</sup>った<sup>すがた</sup>女<sup>すがた</sup>の子<sup>すがた</sup>は<sup>すがた</sup>ノースリーブ<sup>すがた</sup>姿<sup>すがた</sup>。<sup>すがた</sup>フ<sup>すがた</sup>ラン<sup>すがた</sup>シ<sup>すがた</sup>ス<sup>すがた</sup>が<sup>すがた</sup>あ<sup>すがた</sup>た<sup>すがた</sup>た<sup>すがた</sup>か<sup>すがた</sup>い<sup>すがた</sup>紅<sup>すがた</sup>茶<sup>すがた</sup>を<sup>すがた</sup>す<sup>すがた</sup>す<sup>すがた</sup>め<sup>すがた</sup>ると<sup>すがた</sup>「えっ……<sup>すがた</sup>わた<sup>すがた</sup>し<sup>すがた</sup>に<sup>すがた</sup>い<sup>すがた</sup>っ<sup>すがた</sup>て<sup>すがた</sup>い<sup>すがた</sup>る<sup>すがた</sup>の<sup>すがた</sup>？」。<sup>すがた</sup>な<sup>すがた</sup>ぜ<sup>すがた</sup>フ<sup>すがた</sup>ラン<sup>すがた</sup>シ<sup>すがた</sup>ス<sup>すがた</sup>に<sup>すがた</sup>は<sup>すがた</sup>見<sup>すがた</sup>え<sup>すがた</sup>る<sup>すがた</sup>の<sup>すがた</sup>か。<sup>すがた</sup>な<sup>すがた</sup>ぜ<sup>すがた</sup>ジェ<sup>すがた</sup>シ<sup>すがた</sup>カ<sup>すがた</sup>は<sup>すがた</sup>幽<sup>すがた</sup>霊<sup>すがた</sup>に<sup>すがた</sup>な<sup>すがた</sup>った<sup>すがた</sup>の<sup>すがた</sup>か。

“<sup>ふつう</sup>普通<sup>しょうねん</sup>ではない”<sup>しょうねん</sup>少年<sup>ゆうれい</sup>たち<sup>しょうじょ</sup>が、<sup>ゆうれい</sup>幽<sup>しょうじょ</sup>霊<sup>ゆうじょう</sup>の<sup>と</sup>少<sup>か</sup>女<sup>か</sup>と<sup>か</sup>の<sup>か</sup>友<sup>か</sup>情<sup>か</sup>を<sup>か</sup>通<sup>か</sup>して<sup>か</sup>変<sup>か</sup>わ<sup>か</sup>っ<sup>か</sup>て<sup>か</sup>い<sup>か</sup>く。

## 『<sup>さい</sup>13歳<sup>せんごくじだい</sup>のきみと、<sup>いくさ</sup>戦<sup>はなし</sup>国<sup>はなし</sup>時<sup>はなし</sup>代<sup>はなし</sup>の「戦」の話をしよう。』



<sup>ぼうの ふみのり ちよ</sup> (房野 史典 / 著, <sup>げんとうしゃかん</sup>幻冬舎刊)

<sup>さいこう</sup>最高<sup>か</sup>に<sup>くだ</sup>噛<sup>れきしにゆうもんしょ</sup>み<sup>か</sup>砕<sup>か</sup>いて<sup>くだ</sup>わ<sup>せんごく</sup>かり<sup>せんごく</sup>やす<sup>せんごく</sup>く<sup>せんごく</sup>した<sup>せんごく</sup>歴<sup>せんごく</sup>史<sup>せんごく</sup>入<sup>せんごく</sup>門<sup>せんごく</sup>書<sup>せんごく</sup>。<sup>せんごく</sup>噛<sup>せんごく</sup>み<sup>せんごく</sup>砕<sup>せんごく</sup>き<sup>せんごく</sup>す<sup>せんごく</sup>ぎ<sup>せんごく</sup>て、<sup>せんごく</sup>戦<sup>せんごく</sup>国<sup>せんごく</sup>時<sup>せんごく</sup>代<sup>せんごく</sup>の<sup>せんごく</sup>猛<sup>せんごく</sup>者<sup>せんごく</sup>た<sup>せんごく</sup>ち<sup>せんごく</sup>が、<sup>せんごく</sup>“お<sup>せんごく</sup>じ<sup>せんごく</sup>さん”<sup>せんごく</sup>に<sup>せんごく</sup>思<sup>せんごく</sup>え<sup>せんごく</sup>て<sup>せんごく</sup>く<sup>せんごく</sup>る。<sup>せんごく</sup>あ<sup>せんごく</sup>の<sup>せんごく</sup>時<sup>せんごく</sup>に<sup>せんごく</sup>そ<sup>せんごく</sup>ん<sup>せんごく</sup>な<sup>せんごく</sup>行<sup>せんごく</sup>動<sup>せんごく</sup>を<sup>せんごく</sup>し<sup>せんごく</sup>て<sup>せんごく</sup>い<sup>せんごく</sup>た<sup>せんごく</sup>の<sup>せんごく</sup>か…。<sup>せんごく</sup>戦<sup>せんごく</sup>国<sup>せんごく</sup>時<sup>せんごく</sup>代<sup>せんごく</sup>に<sup>せんごく</sup>生<sup>せんごく</sup>きた<sup>せんごく</sup>お<sup>せんごく</sup>じ<sup>せんごく</sup>さん<sup>せんごく</sup>た<sup>せんごく</sup>ち<sup>せんごく</sup>の<sup>せんごく</sup>話<sup>せんごく</sup>を<sup>せんごく</sup>現<sup>せんごく</sup>代<sup>せんごく</sup>の<sup>せんごく</sup>言<sup>せんごく</sup>葉<sup>せんごく</sup>で<sup>せんごく</sup>紹<sup>せんごく</sup>介<sup>せんごく</sup>し<sup>せんごく</sup>ま<sup>せんごく</sup>す。